

# 介護保険事業を取り巻く現状

～地域包括ケア「見える化」システムを用いた現状分析～  
(近隣団体比較版)

令和5年8月  
飯塚市

## 目次

1. 人口と高齢化率の推移.....	1
2. 世帯の状況と推移 .....	2
3. 認定者数、認定率.....	3
(1) 認定者数・認定率の推移.....	3
(2) 調整済み認定率の状況 .....	4
(3) 調整済み認定率の分布 .....	4
4. 要介護者の状況 .....	5
(1) 認知症高齢者自立度の状況 .....	5
(2) 障害高齢者自立度の状況 .....	6
(3) 調整済み新規要支援・要介護認定者の要介護度別分布 .....	7
5. 保険料.....	8
6. サービス利用状況 .....	9
(1) 受給者数・受給率の推移.....	9
(2) サービス類型別の受給率のバランス.....	10
7. 給付の状況.....	11
(1) 受給者1人あたりの給付月額.....	11
(2) 受給者1人あたりの利用回数・日数.....	12
8. 要支援・要介護者1人あたりの定員 .....	13
9. 総括.....	14
(1) 認定率が同規模の県内市町村や福岡県全体、全国平均よりも高い .....	14
(2) 在宅サービス、施設・居住系サービスともに受給率が高い .....	17
(3) 重度者の受給者1人あたりの給付月額が高い .....	18

資料中の比較団体は、下記に記載のとおりとする。

近隣団体・・・嘉麻市・直方市・中間市・福岡県広域連合（田川市・桂川町は広域連合加入のため）

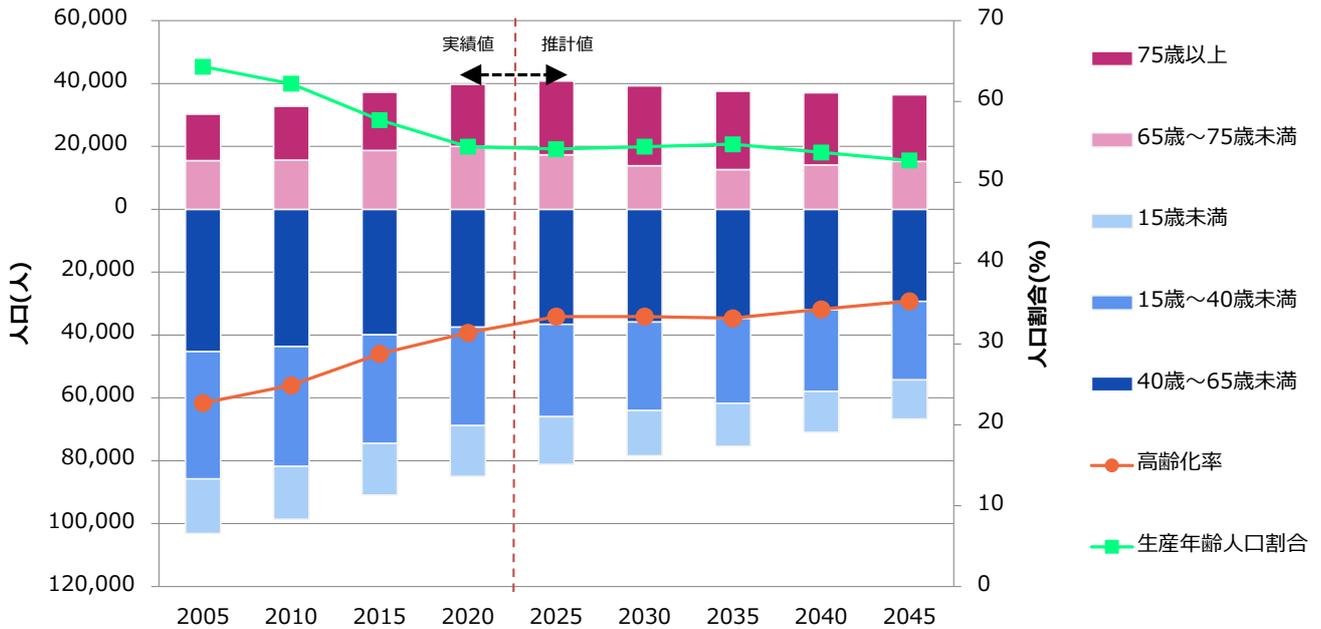
類似団体・・・大牟田市（人口の類似）

参考団体・・・全国、福岡県

# 1. 人口と高齢化率の推移

本市の総人口は、2005年から一貫して減少が続き、2025年には121,922人となる見込みです。  
 一方、高齢化率については2005年から増加が続き、2020年には3割を超え31.4%となっています。2025年からも増加を続けるものの、増加幅は微増となる見込みです。  
 福岡県全体の高齢化率と比べると、本市の高齢化率は高く推移する見込みです。

図表1 人口と高齢化率の推移



(出典) 2000年～2020年まで：総務省「国勢調査」

2025年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

	2005	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045
人口 (人)	133,357	131,492	129,146	126,364	121,922	117,572	112,898	107,987	103,103
15歳未満 (人)	17,335	16,856	16,338	16,215	15,173	14,356	13,566	12,986	12,412
15歳～40歳未満 (人)	40,425	38,101	34,551	31,296	29,409	28,079	27,076	25,943	25,001
40歳～65歳未満 (人)	45,334	43,667	39,961	37,486	36,601	35,915	34,723	32,024	29,317
65歳～75歳未満 (人)	15,476	15,598	18,699	20,046	17,328	13,859	12,656	14,111	15,206
75歳以上 (人)	14,737	17,157	18,511	19,681	23,411	25,363	24,877	22,923	21,167
生産年齢人口 (人)	85,759	81,768	74,512	68,782	66,010	63,994	61,799	57,967	54,318
高齢者人口 (人)	30,213	32,755	37,210	39,727	40,739	39,222	37,533	37,034	36,373
生産年齢人口割合 (%)	64.3	62.2	57.7	54.4	54.1	54.4	54.7	53.7	52.7
高齢化率 (%)	22.7	24.9	28.8	31.4	33.4	33.4	33.2	34.3	35.3
高齢化率 (福岡県) (%)	19.8	22.1	25.6	27.2	29.6	30.5	31.6	33.7	35.2
高齢化率 (全国) (%)	20.1	22.8	26.3	28.0	30.0	31.2	32.8	35.3	36.8

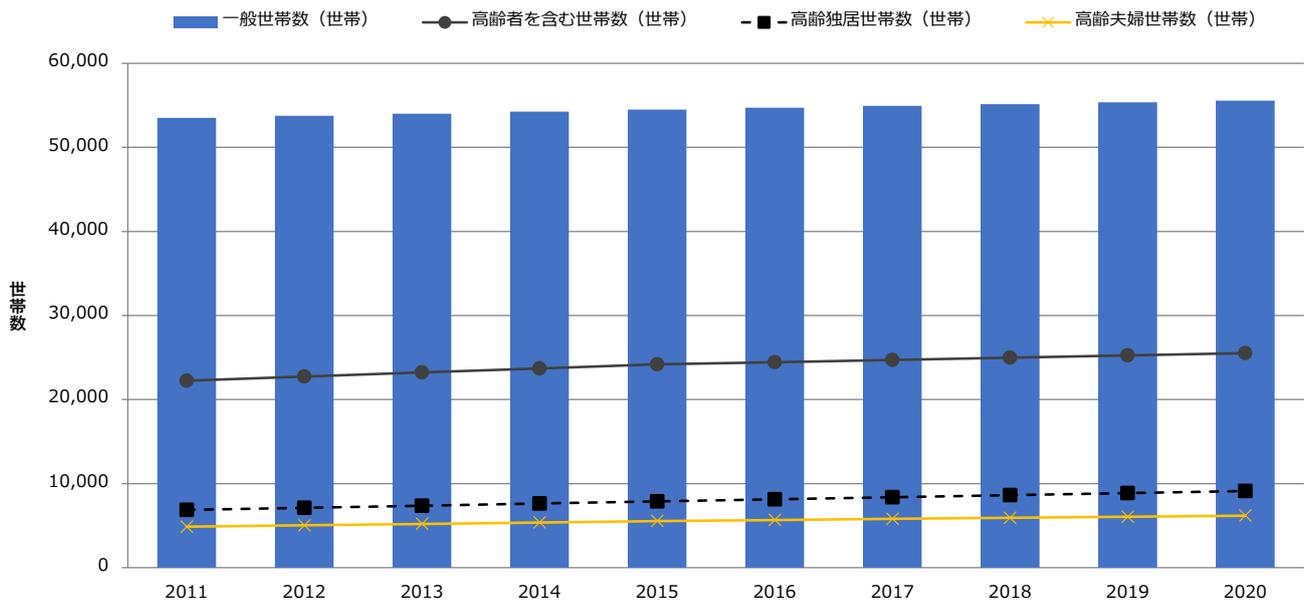
## 2. 世帯の状況と推移

本市の高齢者を含む世帯は、2020年で25,513世帯であり、一般世帯の45.9%を占めています。

高齢独居世帯は一般世帯の16.4%、高齢夫婦世帯は一般世帯の11.1%を占めており、両者を合わせた『高齢者のみ世帯』は、一般世帯の27.5%を占めています。

高齢者のみ世帯の割合は、近隣の嘉麻市・直方市・中間市及び人口規模の近い大牟田市と比較すると低くなっていますが、福岡県広域連合、福岡県全体や全国と比較すると高くなっています。

図表2 世帯の状況と推移



(出典) 総務省「国勢調査」

		2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
一般世帯数	(世帯)	53,500	53,752	54,003	54,255	54,506	54,718	54,929	55,139	55,350	55,562
高齢者を含む世帯数	(世帯)	22,252	22,735	23,217	23,699	24,181	24,448	24,714	24,980	25,246	25,513
高齢独居世帯数	(世帯)	6,867	7,122	7,377	7,631	7,886	8,135	8,383	8,632	8,880	9,129
高齢夫婦世帯数	(世帯)	4,871	5,040	5,208	5,376	5,544	5,673	5,801	5,930	6,058	6,187
一般世帯に占める 高齢者を含む世帯の割合	(%)	41.6	42.3	43.0	43.7	44.4	44.7	45.0	45.3	45.6	45.9
一般世帯に占める 高齢者独居世帯の割合	(%)	12.8	13.2	13.7	14.1	14.5	14.9	15.3	15.7	16.0	16.4
一般世帯に占める 高齢夫婦世帯の割合	(%)	9.1	9.4	9.6	9.9	10.2	10.4	10.6	10.8	10.9	11.1

2020年	飯塚市	嘉麻市	直方市	中間市	大牟田市	福岡県 広域連合	福岡県	全国
高齢者を含む世帯の割合	45.9	61.1	50.1	56.2	53.5	50.3	38.3	40.7
高齢者独居世帯の割合	16.4	22.8	16.9	17.6	19.2	14.7	12.3	12.1
高齢夫婦世帯の割合	11.1	13.9	12.8	15.0	12.9	12.4	9.9	10.5
高齢者のみ世帯の割合	27.5	36.7	29.7	32.6	32.1	27.1	22.2	22.6

### 3. 認定者数、認定率

#### (1) 認定者数・認定率の推移

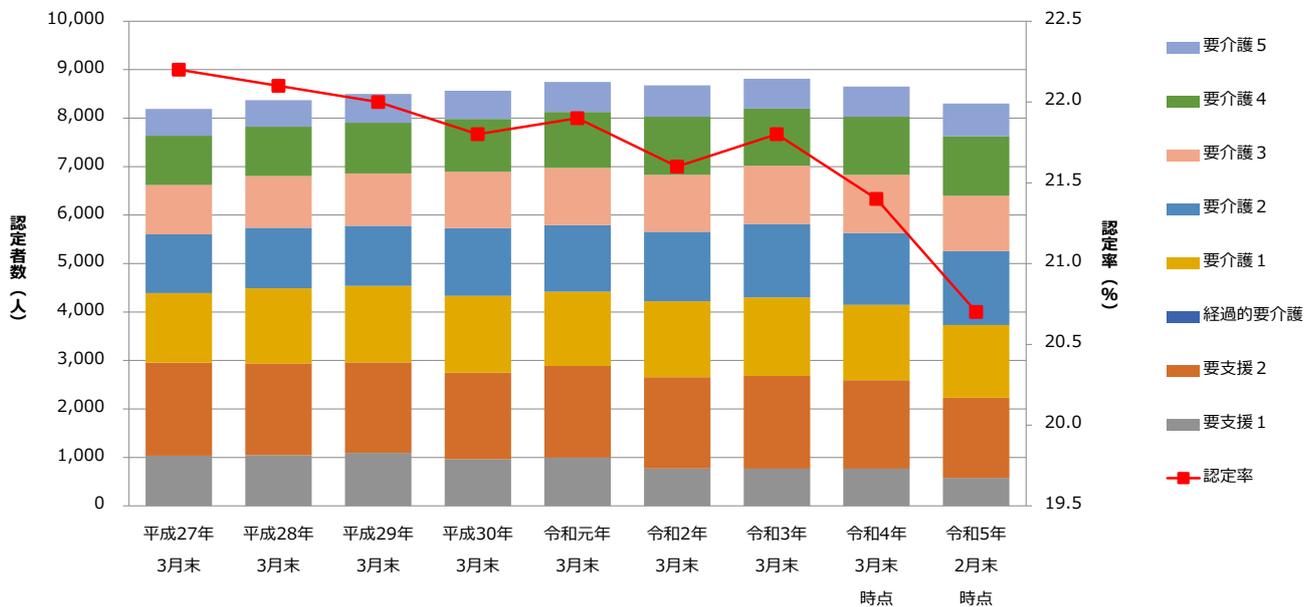
認定者数は、令和元年3月末まで増加傾向にありましたが、令和2年3月末に減少し、令和3年3月末に増加に転じますが、以降再び減少し、令和5年2月末時点では8,302人となっています。

認定率は概ね減少傾向にありますが、福岡県全体や全国と比較すると高い値で推移しています。

第8期の計画と実績との比較についてみると、認定者数全体では実績値が計画値（推計値）の9割となっています。

要介護度別にみると、令和5年2月末時点では、要介護5の実績が計画値（推計値）をわずかに上回っています。

図表3 認定者数、認定率の推移



(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報 (令和3,4年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

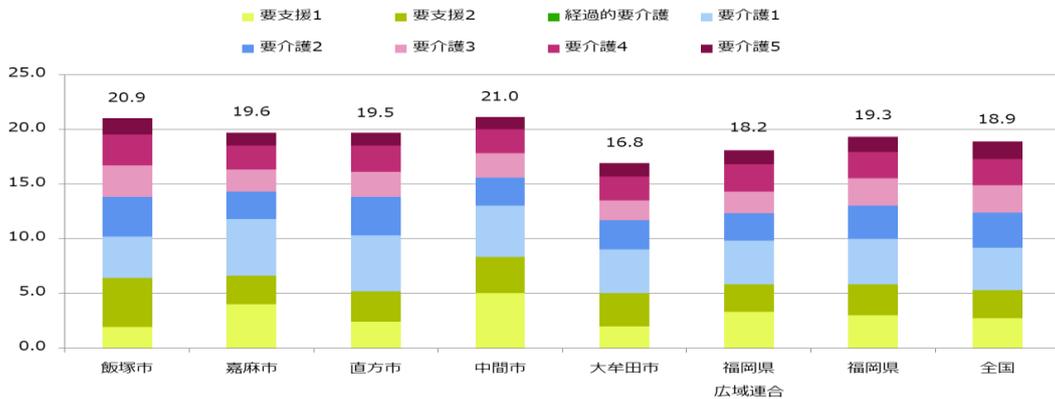
	平成27年 3月末	平成28年 3月末	平成29年 3月末	平成30年 3月末	令和元年 3月末	令和2年 3月末	令和3年 3月末	令和4年 3月末時点	令和5年 2月末時点
認定者数 (人)	8,190	8,370	8,500	8,564	8,747	8,676	8,812	8,653	8,302
認定者数 (要支援1) (人)	1,035	1,047	1,096	968	998	773	768	769	578
認定者数 (要支援2) (人)	1,923	1,893	1,865	1,782	1,889	1,883	1,914	1,826	1,652
認定者数 (要介護1) (人)	1,432	1,551	1,579	1,581	1,531	1,566	1,617	1,552	1,500
認定者数 (要介護2) (人)	1,211	1,246	1,241	1,400	1,375	1,432	1,518	1,484	1,524
認定者数 (要介護3) (人)	1,020	1,069	1,079	1,159	1,183	1,178	1,203	1,198	1,142
認定者数 (要介護4) (人)	1,017	1,016	1,046	1,095	1,153	1,199	1,179	1,199	1,229
認定者数 (要介護5) (人)	552	548	594	579	618	645	613	625	677
認定率 (%)	22.2	22.1	22.0	21.8	21.9	21.6	21.8	21.4	20.7
認定率 (福岡県) (%)	19.3	19.2	19.1	19.1	19.1	19.1	19.2	19.2	19.2
認定率 (全国) (%)	17.9	17.9	18.0	18.0	18.3	18.4	18.7	18.9	19.0
	第8期計画値①			実績②			比較 (②/①)		
	R 3年度 (2021)	R 4年度 (2022)	R 5年度 (2023)	R 3年度 (2021)	R 4年度 (2022)	R 5年度 (2023)	R 3年度 (2021)	R 4年度 (2022)	R 5年度 (2023)
認定者数 (人)	8,945	9,109	9,233	8,788	8,495	8,302	0.98	0.93	0.90
認定者数 (要支援1) (人)	776	789	798	775	640	578	1.00	0.81	0.72
認定者数 (要支援2) (人)	1,954	1,987	2,011	1,882	1,736	1,652	0.96	0.87	0.82
認定者数 (要介護1) (人)	1,610	1,636	1,660	1,603	1,493	1,500	1.00	0.91	0.90
認定者数 (要介護2) (人)	1,504	1,531	1,556	1,513	1,533	1,524	1.01	1.00	0.98
認定者数 (要介護3) (人)	1,237	1,263	1,282	1,201	1,178	1,142	0.97	0.93	0.89
認定者数 (要介護4) (人)	1,213	1,238	1,255	1,188	1,260	1,229	0.98	1.02	0.98
認定者数 (要介護5) (人)	651	665	671	626	655	677	0.96	0.98	1.01

## (2) 調整済み認定率の状況

調整済み認定率※をみると、本市は中間市を除く他市や福岡県広域連合、福岡県全体、全国に比べて、認定率が高くなっています。

※認定率の多寡に影響する「第1号被保険者の性・年齢構成」の影響を除外した認定率

**図表4 調整済認定率の状況**



(時点) 令和3年(2021年)

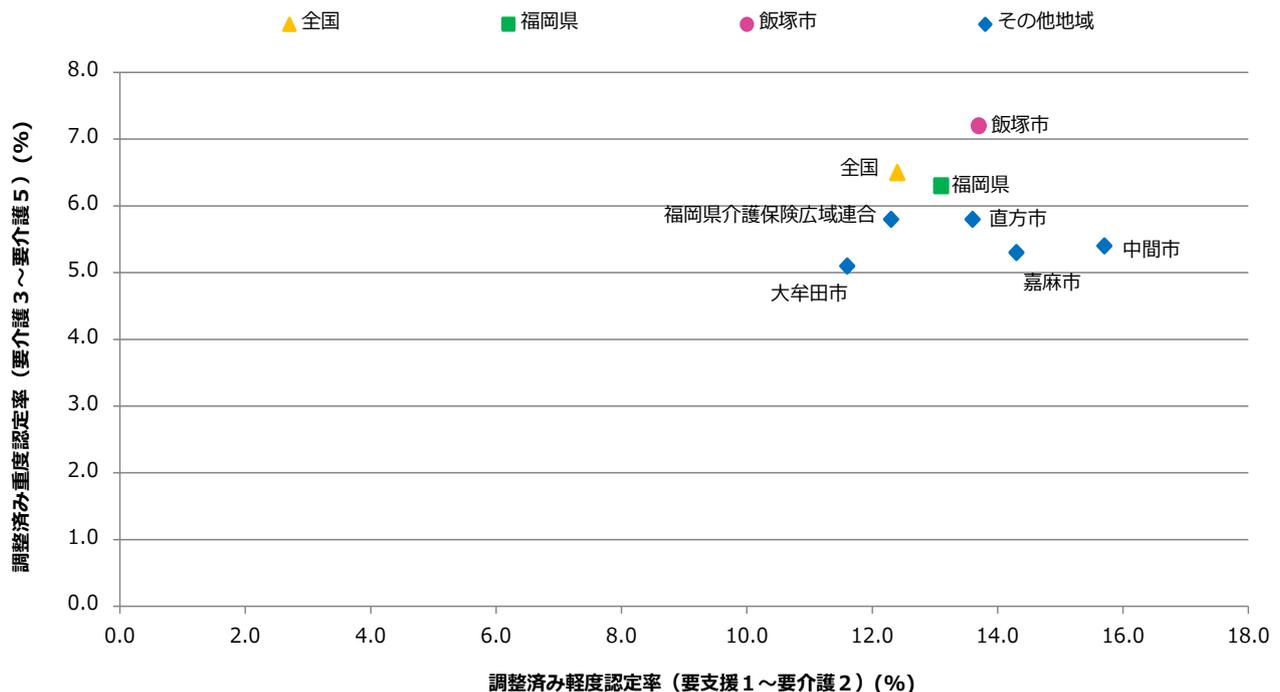
(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

## (3) 調整済み認定率の分布

調整済み認定率※の分布をみると、本市は他市や福岡県広域連合、福岡県全体、全国に比べて、重度認定率(要介護3～要介護5)が高くなっています。

※認定率の多寡に影響する「第1号被保険者の性・年齢構成」の影響を除外した認定率

**図表5 調整済認定率の分布**



(時点) 令和3年(2021年)

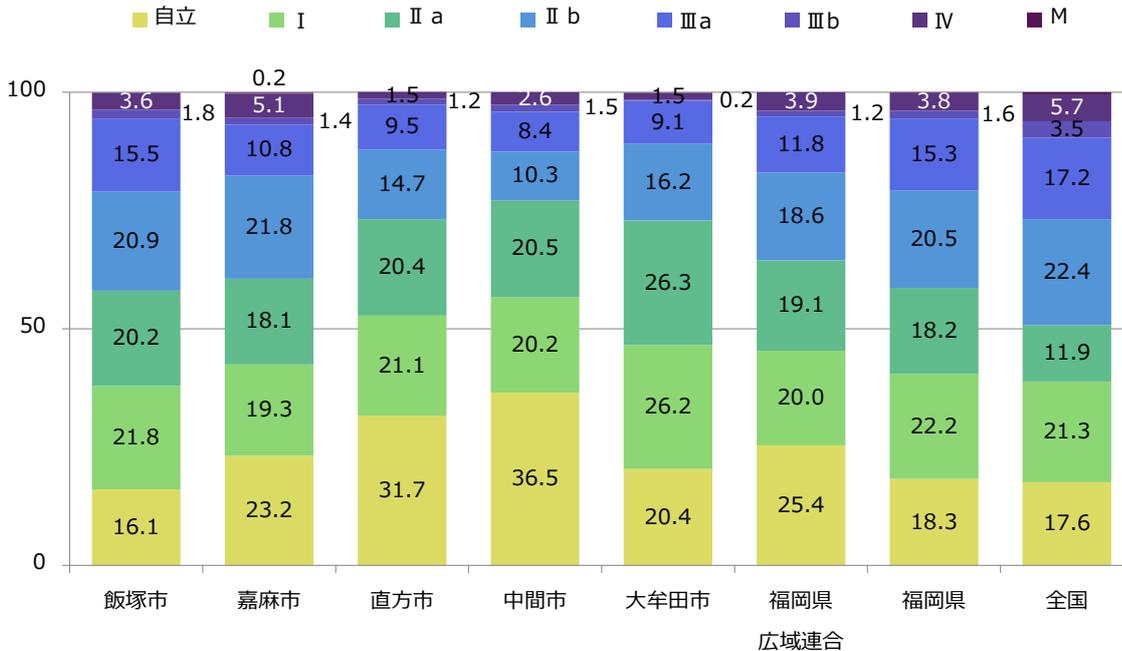
(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

## 4. 要介護者の状況

### (1) 認知症高齢者自立度の状況

令和4年10月時点の認知症高齢者の日常生活自立度をみると、本市の「自立」の割合は16.1%であり、他市や福岡県全体、全国と比較すると低くなっています。

図表6 認知症高齢者自立度の状況



(時点) 令和4年10月(2022年10月)

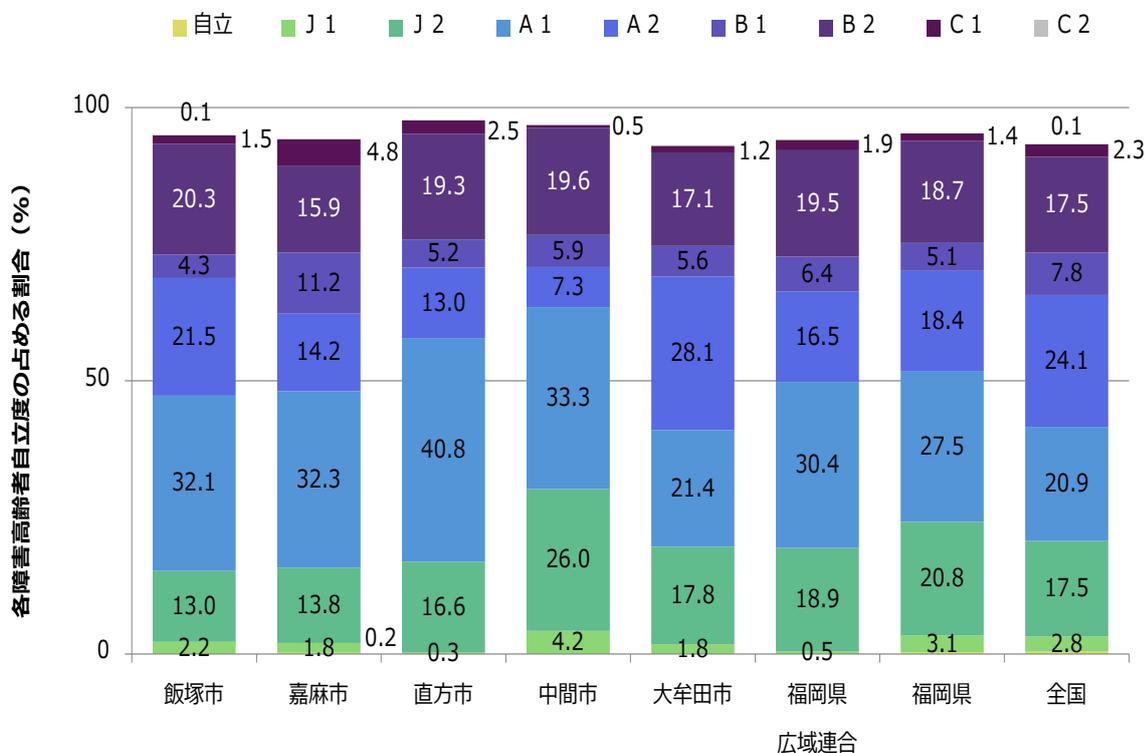
(出典) 厚生労働省「介護保険総合データベース」(令和5年3月10日時点データにて集計) ※本指標は自治体向けのため取り扱いに注意してください。

ランク	判断基準	見られる症状・行動の例
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。	
II	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。	
II a	家庭外で上記IIの状態がみられる。	たびたび道に迷うとか、買物や事務、金銭管理などそれまでできたことにミスが目立つ等
II b	家庭内でも上記IIの状態が見られる。	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者との対応など一人で留守番ができない等
III	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。	
III a	日中を中心として上記IIIの状態が見られる。	着替え、食事、排便、排尿が上手にできない、時間がかかる。 やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声・奇声をあげる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等
III b	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。	ランクIII aに同じ
IV	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	ランクIIIに同じ
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態等

(2) 障害高齢者自立度の状況

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）をみると、中間市や福岡県全体、全国などと比べランクJ「生活自立」の割合が低くなっています。

**図表7 障害高齢者自立度の状況**



(時点) 令和4年10月(2022年10月)

(出典) 厚生労働省「介護保険総合データベース」(令和5年3月10日時点データにて集計) ※本指標は自治体向けのため取り扱いに注意してください。

生活自立	ランクJ	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する 1. 交通機関等を利用して外出する 2. 隣近所へなら外出する
準寝たきり	ランクA	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない 1. 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する 2. 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている
寝たきり	ランクB	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ 1. 車いすに移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う 2. 介助により車いすに移乗する
	ランクC	1 日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する 1. 自力で寝返りをうつ 2. 自力では寝返りもうてない

(3) 調整済み新規要支援・要介護認定者の要介護度別分布

調整済み新規要支援・要介護認定者の要介護度別分布をみると、軽度者（要支援1～要介護2）が77.6%、重度者（要介護3～要介護5）が22.4%となっています。

他市や福岡県広域連合、福岡県全体と比較すると、軽度者（要支援1～要介護2）の割合は最も低く、重度者（要介護3～要介護5）の割合は最も高くなっています。

図表8 調整済み新規要支援・要介護認定者の要介護度別分布



(時点) 令和3年(2021年)

(出典) 厚生労働省「介護保険総合データベース」(令和3年11月10日時点データにて集計) および厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報) および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」 ※本指標は自治体向けのため取り扱いに注意してください。

	飯塚市	嘉麻市	直方市	中間市
要支援1	16.2	41.9	23.8	44.3
要支援2	22.7	15.5	19.4	13.6
要介護1	24.3	19.3	27.4	19.8
要介護2	14.4	8.6	10.7	7.5
要介護3	8.8	6.3	8.6	5.8
要介護4	9.2	5.3	7.2	6.2
要介護5	4.4	3.2	2.8	2.8

	大牟田市	福岡県広域連合	福岡県	全国
要支援1	27.3	33.1	29.2	26.0
要支援2	21.1	15.9	17.9	17.0
要介護1	23.8	23.2	25.0	24.8
要介護2	10.0	9.3	10.5	12.2
要介護3	6.5	6.9	6.7	7.3
要介護4	7.5	7.6	6.7	7.7
要介護5	3.8	3.9	4.0	5.1

## 5. 保険料

第1号被保険者1人あたりの保険給付月額が2.6万円台で推移しており、福岡県広域連合、他市や福岡県全体、全国と比較すると高い金額となっています。

第8期の第1号保険料月額は7,170円で、必要保険料額※に対し、令和4年度（2月まで）は487円、令和4年度（12月まで）は612円の乖離があり、必要保険料額を上回っています。

※介護保険料基準額設定のために保険者が推計した費用を、実績値に置き換えて算出したもの

**図表9 第1号被保険者1人あたり保険給付月額・第1号保険料月額・必要保険料月額**



(時点) 令和2年(2020年),令和3年(2021年),令和4年(2022年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)および介護保険事業計画報告値  
Hxx/Mと表示されている年度は、M月サービス提供分までの数値を用いて、当該年度の指標値を算出しています。

	飯塚市			嘉麻市			直方市		
	R2	R4/2	R5/2	R2	R4/2	R5/2	R2	R4/2	R5/2
第1号被保険者1人あたり保険給付月額 (B) (円)	26,113	26,536	26,258	25,595	25,148	24,953	24,233	24,245	24,264
第1号保険料月額 (A) (円)	6,600	7,170	7,170	6,500	6,500	6,500	6,333	6,314	6,314
必要保険料月額 (B) (円)	6,685	6,683	6,506	6,774	6,230	6,135	5,959	5,807	5,687
差額 (A-B) (円)	-85	487	664	-274	270	365	374	507	627
	中間市			大牟田市			福岡県広域連合		
	R2	R4/2	R5/2	R2	R4/2	R5/2	R2	R4/2	R5/2
第1号被保険者1人あたり保険給付月額 (B) (円)	22,198	22,256	22,081	22,560	23,060	22,928	21,770	22,026	22,121
第1号保険料月額 (A) (円)	5,937	6,160	6,160	6,220	6,220	6,220	6,158	5,584	5,584
必要保険料月額 (B) (円)	5,795	5,582	5,394	6,305	5,670	5,558	5,600	5,649	5,591
差額 (A-B) (円)	142	578	766	-85	550	662	558	-65	-7
	福岡県			全国					
	R2	R4/2	R5/2	R2	R4/2	R5/2			
第1号被保険者1人あたり保険給付月額 (B) (円)	22,220	22,746	23,119	22,344	22,860	23,321			
第1号保険料月額 (A) (円)	5,996	6,078	6,078	5,784	6,014	6,014			
必要保険料月額 (B) (円)	6,057	5,995	6,033	5,725	5,934	5,992			
差額 (A-B) (円)	-61	83	45	59	80	22			

## 6. サービス利用状況

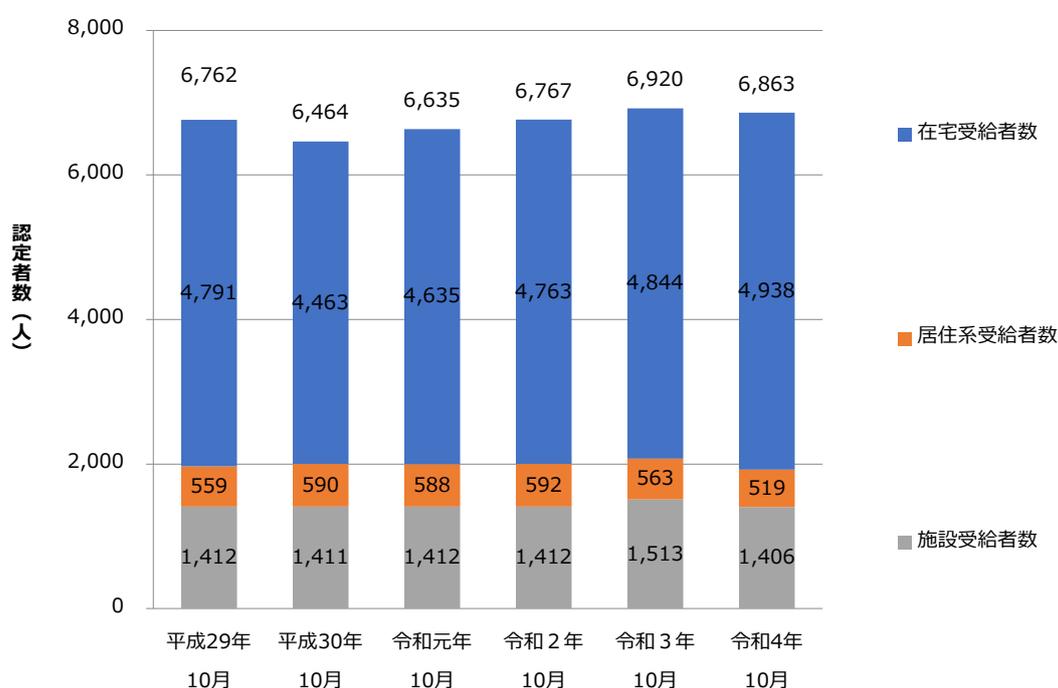
### (1) 受給者数・受給率の推移

受給者数全体は平成30年に一旦減少したのち、その後令和3年まで増加していましたが令和4年には再び減少し6,863人となっています。第1号被保険者数に占める割合は令和4年10月時点で17.1%となっています。

サービス類型別に第1号被保険者数に占める割合をみると、直近の3年間はいずれのサービスもほぼ横ばいで推移しています。

また、認定者数に占める受給者の割合は平成30年に一旦減少したのち増加傾向に転じ、令和4年10月時点で81.2%となっています。

図表10 受給者数・受給率の推移



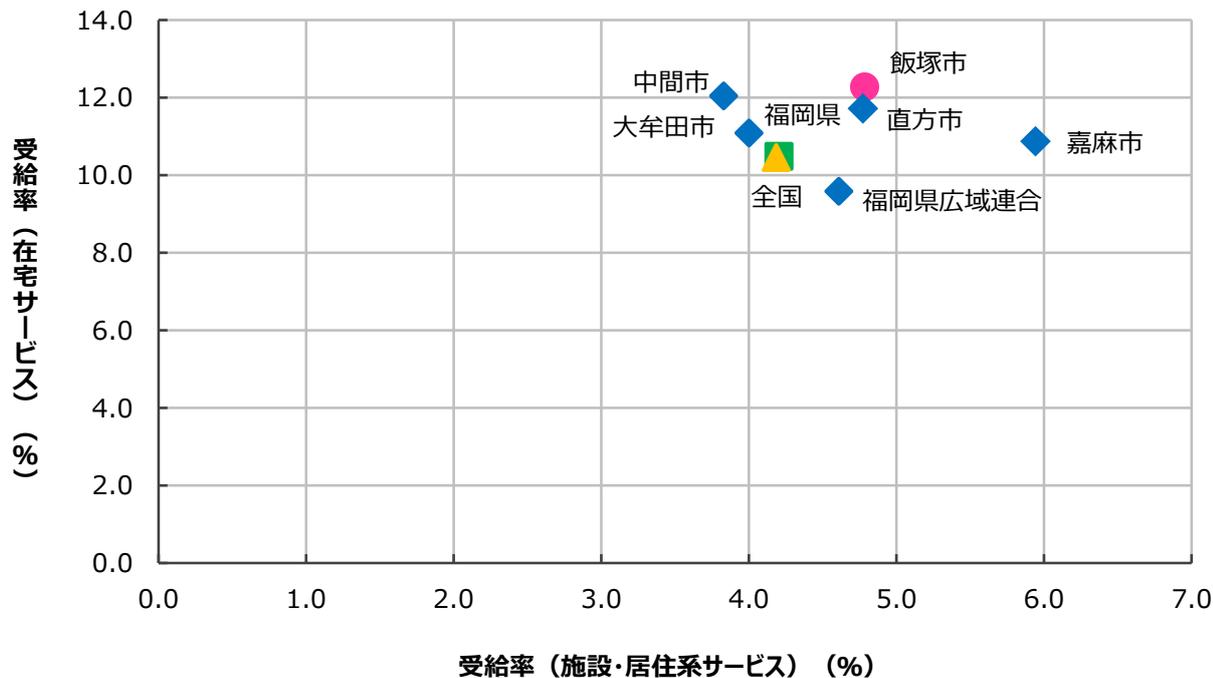
(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

	平成29年 10月	平成30年 10月	令和元年 10月	令和2年 10月	令和3年 10月	令和4年 10月
第1号被保険者数	39,062	39,627	40,073	40,319	40,331	40,234
認定者数	8,589	8,731	8,765	8,741	8,771	8,451
受給者数	6,762	6,464	6,635	6,767	6,920	6,863
施設サービス	1,412	1,411	1,412	1,412	1,513	1,406
居住系サービス	559	590	588	592	563	519
在宅サービス	4,791	4,463	4,635	4,763	4,844	4,938
第1号被保険者数に占める割合	17.3%	16.3%	16.6%	16.8%	17.2%	17.1%
施設サービス	3.6%	3.6%	3.5%	3.5%	3.8%	3.5%
居住系サービス	1.4%	1.5%	1.5%	1.5%	1.4%	1.3%
在宅サービス	12.3%	11.3%	11.6%	11.8%	12.0%	12.3%
認定者数に占める割合	78.7%	74.0%	75.7%	77.4%	78.9%	81.2%
施設サービス	16.4%	16.2%	16.1%	16.2%	17.3%	16.6%
居住系サービス	6.5%	6.8%	6.7%	6.8%	6.4%	6.1%
在宅サービス	55.8%	51.1%	52.9%	54.5%	55.2%	58.4%

(2) サービス類型別の受給率のバランス

在宅サービスの受給率と施設・居住系サービスの受給率のバランスをみると、本市は嘉麻市を除く比較対象の他市より「在宅サービス、施設・居住系サービスともに受給率が高い」ことがわかります。嘉麻市は、本市より施設・居住系サービスの受給率が高くなっています。

図表 1 1 サービス類型別の受給率のバランス (令和 4 年)



## 7. 給付の状況

### (1) 受給者1人あたりの給付月額

本市の受給者1人あたりの給付月額（在宅および居住系サービス）は、他市、福岡県広域連合に比べて高くなっていますが、福岡県全体や全国と比べると低くなっています。

サービス別にみると、「訪問入浴介護」「短期入所生活介護」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が、他に比べて高くなっています。

図表12 受給者1人あたりの給付月額（令和4年）

		飯塚市	嘉麻市	直方市	中間市	大牟田市	福岡県 広域連合	福岡県	全国
受給者1人あたり給付月額 (在宅および居住系サービス)	(円)	125,578	111,696	121,586	109,923	122,876	123,109	128,398	130,072
要支援1	(円)	1,001	4,338	1,803	2,936	2,632	3,130	2,252	1,803
要支援2	(円)	5,144	4,716	3,709	4,206	7,739	4,832	4,314	3,584
要介護1	(円)	23,845	39,504	30,668	32,362	32,115	33,528	30,248	26,727
要介護2	(円)	30,074	22,916	28,442	21,176	26,956	24,725	28,314	29,819
軽度者(要支援1～要介護2)	(円)	60,064	71,474	64,622	60,680	69,442	66,215	65,128	61,933
要介護3	(円)	24,353	15,212	21,563	20,019	17,606	21,606	26,027	27,381
要介護4	(円)	26,075	16,769	22,655	19,655	22,098	23,313	23,025	23,702
要介護5	(円)	15,086	8,241	12,746	9,569	13,730	11,975	14,218	17,056
重度者(要介護3～要介護5)	(円)	65,514	40,222	56,964	49,243	53,434	56,894	63,270	68,139

		飯塚市	嘉麻市	直方市	中間市	大牟田市	福岡県 広域連合	福岡県	全国
居宅サービス									
訪問介護	(円)	51,585	48,512	41,336	42,099	73,882	54,273	54,744	76,919
訪問入浴介護	(円)	65,646	51,872	57,975	50,446	49,111	65,187	64,834	61,810
訪問看護	(円)	37,910	36,859	45,289	39,072	37,532	39,374	41,801	41,295
訪問リハビリテーション	(円)	36,246	41,109	42,263	40,504	33,642	37,441	37,248	33,674
居宅療養管理指導	(円)	10,851	11,938	12,698	12,156	10,236	11,697	12,784	12,382
通所介護	(円)	102,886	102,150	105,264	108,900	93,590	100,186	94,442	83,257
通所リハビリテーション	(円)	56,450	46,573	59,635	56,845	57,892	58,244	56,457	58,136
短期入所生活介護	(円)	115,425	94,452	74,423	71,970	111,977	112,640	105,028	108,557
短期入所療養介護	(円)	60,063	77,189	69,185	76,322	59,704	69,465	76,037	91,341
福祉用具貸与	(円)	9,218	8,224	9,752	9,474	10,078	9,587	10,522	11,966
特定施設入居者生活介護	(円)	181,595	166,803	180,031	161,568	182,357	170,407	178,496	184,041
地域密着型サービス									
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	(円)	182,862	152,875	135,246	163,820	129,079	148,505	176,494	166,008
認知症対応型通所介護	(円)	135,878	0	124,386	210,395	108,333	125,361	136,761	116,352
小規模多機能型居宅介護	(円)	197,485	228,580	205,590	121,606	166,679	178,814	182,035	191,607
認知症対応型共同生活介護	(円)	258,399	246,133	257,249	241,812	255,388	250,213	257,260	260,639
地域密着型特定施設入居者生活介護	(円)	196,287	-	-	-	191,280	198,074	197,910	198,574
看護小規模多機能型居宅介護	(円)	222,539	239,678	179,128	201,352	212,541	242,121	246,568	260,420
地域密着型通所介護	(円)	95,060	103,683	98,479	113,874	122,751	103,458	92,141	74,762
介護予防支援・居宅介護支援	(円)	12,116	10,694	12,085	11,733	10,669	11,302	12,428	13,138

(2) 受給者1人あたりの利用回数・日数

受給者1人あたりの利用回数・日数をみると、「訪問介護」は近隣の嘉麻市・直方市・中間市に比べ多くなっていますが、その他の市や福岡県広域連合、福岡県全体、全国と比べると少なくなっています、また「訪問入浴介護」「短期入所生活介護」では、他に比べ比較的利用日数が多くなっています。

図表13 受給者1人あたりの利用回数・日数（令和4年）

	飯塚市	嘉麻市	直方市	中間市	大牟田市	福岡県 広域連合	福岡県	全国
訪問介護 (回)	17.3	15.1	15.9	16.1	26.3	19.6	20.0	26.2
訪問入浴介護 (回)	5.4	4.2	4.8	4.1	4.0	5.3	5.2	4.9
訪問看護 (回)	8.9	8.5	10.5	8.1	8.9	9.5	9.3	8.9
訪問リハビリテーション (回)	12.7	14.6	14.2	13.3	11.6	12.7	12.5	11.5
通所介護 (回)	14.4	14.2	15.3	15.0	12.9	13.9	12.9	10.7
通所リハビリテーション (回)	5.7	4.7	7.2	5.7	5.5	5.7	5.7	5.7
短期入所生活介護 (日)	13.6	12.1	9.3	8.7	13.9	14.1	12.4	12.7
短期入所療養介護 (日)	5.5	8.0	6.8	6.3	5.2	6.4	6.6	8.1
認知症対応型通所介護 (回)	13.2	-	16.6	18.0	11.9	12.9	13.3	10.6
地域密着型通所介護 (回)	12.3	13.8	13.1	14.8	15.4	13.1	11.6	9.4

## 8. 要支援・要介護者 1 人あたりの定員

要支援・要介護者 1 人あたりの定員をみると、「地域密着型特定施設入居者生活介護」「地域密着型通所介護」は、他市や福岡県広域連合、福岡県全体に比べると地域の要介護者に対して提供可能な量が多い状況です。

一方、「認知症対応型通所介護」は、地域の要介護者に対して提供可能な量が少ない状況です（直方市を除く）。

図表 1 4 要支援・要介護者 1 人あたりの定員

		飯塚市	嘉麻市	直方市	中間市	大牟田市	福岡県介護保険 広域連合	福岡県	全国
(施設サービス) 要支援・要介護者1人あたり定員合計	(人)	0.154	0.241	0.161	0.109	0.176	0.236	0.160	0.157
	介護老人福祉施設	0.082	0.116	0.075	0.061	0.073	0.128	0.081	0.084
	介護老人保健施設	0.059	0.066	0.087	0.039	0.076	0.083	0.053	0.055
	介護療養型医療施設	0.006	0.012	0	0	0.016	0.015	0.008	0.004
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0.007	0.007	0	0.009	0.005	0.002	0.009	0.009
(居住系サービス) 要支援・要介護者1人あたり定員合計	(人)	0.070	0.090	0.128	0.047	0.064	0.093	0.087	0.078
	特定施設入居者生活介護	0.030	0.040	0.104	0.025	0.026	0.039	0.048	0.045
	認知症対応型共同生活介護	0.029	0.050	0.024	0.022	0.029	0.053	0.037	0.032
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0.010	0	0	0	0.009	0.001	0.001	0.001
(通所系サービス) 要支援・要介護者1人あたり定員合計	(人)	0.322	0.288	0.408	0.322	0.398	0.314	0.290	0.225
	通所介護	0.171	0.135	0.252	0.251	0.126	0.167	0.153	0.118
	地域密着型通所介護	0.070	0.040	0.026	0.019	0.044	0.034	0.040	0.037
	通所リハビリテーション	0.055	0.104	0.116	0.038	0.142	0.085	0.067	0.043
	認知症対応型通所介護	0.001	0	0.001	0	0.016	0.004	0.004	0.006
	小規模多機能型居宅介護（宿泊）	0.005	0.003	0.005	0.002	0.022	0.007	0.007	0.006
	小規模多機能型居宅介護（通い）	0.011	0.005	0.008	0.004	0.045	0.016	0.016	0.013
	看護小規模多機能型居宅介護（宿泊）	0.003	0	0	0.003	0.001	0	0.001	0.001
	看護小規模多機能型居宅介護（通い）	0.006	0	0	0.005	0.002	0.001	0.002	0.002

(時点) 令和4年(2022年)

(出展) 介護サービス情報公表システムおよび厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

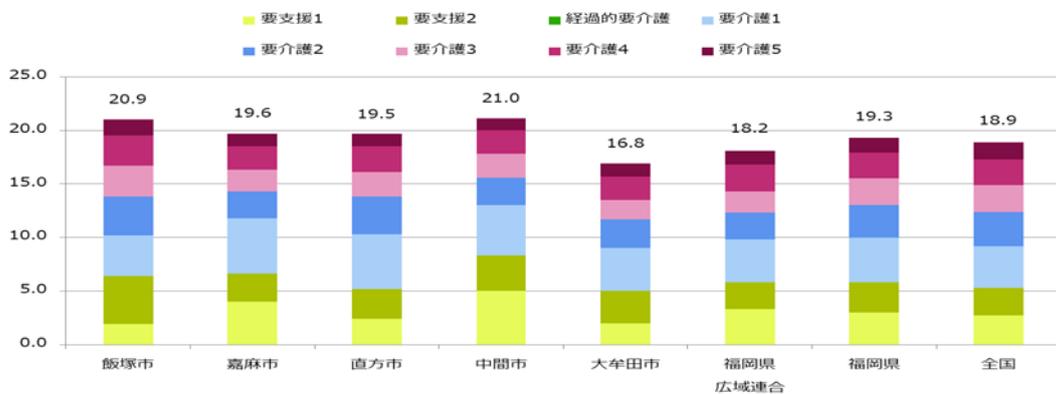
## 9. 総括

(1) 認定率が同規模の県内市町村や福岡県全体、全国平均よりも高い

本市の認定率は、比較対象の他市や福岡県全体、全国よりも重度認定率が高い状況にあります。今後は、

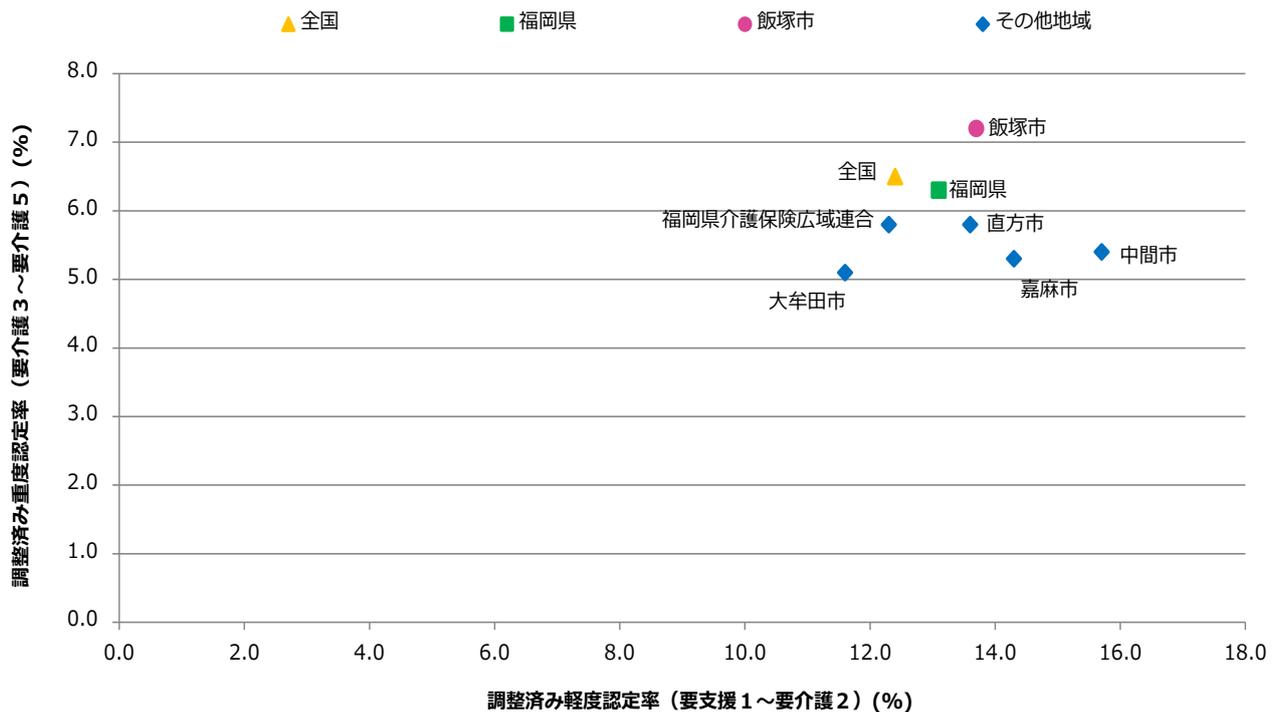
- ① 要介護認定のプロセスの精度を高める
  - ② 地域の高齢者の状況の把握
  - ③ 地域住民に対する周知の強化
- といった取組が必要と考えられます。

**図表 15 調整済認定率の状況（再掲）**



(時点) 令和3年(2021年)  
 (出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

**図表 16 調整済認定率の分布（再掲）**



(時点) 令和3年(2021年)  
 (出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

## ①要介護認定のプロセス

要介護認定のプロセスについては「認定調査項目の選択率について、全国平均と比べて差が大きいか」「**重度（軽度）変更率について、全国平均と比べて差が大きいか**」という確認の視点が考えられます。

上記については、要介護認定適正化事業の業務分析データ内にある「Ⅱ 調査項目データ」で確認することができます。

### ▶考えられる対応例

**（認定調査項目の選択率に全国平均と差がある場合）**

- ・調査項目間で矛盾した回答がないか確認することや特記事項に記載されている選択根拠の確認を通しての原因の特定
- ・調査員ヒアリング
- ・認定業務の委託事業所、認定調査員への研修の実施

**（重度・軽度変更率に全国平均と差がある場合）**

- ・認定審査会への専門家派遣、研修の実施

## ②地域の高齢者の状況

地域の高齢者の状況については「**高齢者独居世帯、高齢者夫婦世帯の割合が他の地域と比べて高くないか**」「**身体機能、認知機能が低下している高齢者の割合が他の地域と比べて高くないか**」「**要介護認定率に比べ、介護保険サービスの利用率が低くないか**」という確認の視点が考えられます。

### A. 高齢者独居世帯、高齢者夫婦世帯の割合が他の地域と比べて高くないか

本市の高齢者のみ世帯の割合は、福岡県全体や全国と比較すると高い状況にあります。高齢者のみ世帯が多い地域は、将来の介護保険サービスのニーズが高い場合も考えられます。このため、早い段階から必要な検討を行っていくことが、潜在的リスクを最小限に抑えるための一つの対応策として考えられます。

**図表 1 7 高齢者世帯の状況（2020年）**

2020年	飯塚市	嘉麻市	直方市	中間市	大牟田市	福岡県 広域連合	福岡県	全国
高齢者を含む世帯の割合	45.9	61.1	50.1	56.2	53.5	50.3	38.3	40.7
高齢者独居世帯の割合	16.4	22.8	16.9	17.6	19.2	14.7	12.3	12.1
高齢夫婦世帯の割合	11.1	13.9	12.8	15.0	12.9	12.4	9.9	10.5
高齢者のみ世帯の割合	27.5	36.7	29.7	32.6	32.1	27.1	22.2	22.6

### ▶考えられる対応例

- ・住民主体の通いの場の創設等の介護予防に関する取組の推進
- ・多様な主体による生活支援サービスの充実
- ・生活支援コーディネーターの活用等による自治会等、住民互助による地域コミュニティの再構築

B. 身体機能、認知機能が低下している高齢者の割合が他の地域と比べて高くないか

身体機能、認知機能等のリスク該当者の割合が高い地域は、将来の介護保険サービスのニーズが高い場合も考えられます。「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」により、地域のリスク該当者を把握することが重要です。

▶リスク該当者が他の地域に比べて高い場合に、考えられる対応例

- ・住民主体の通いの場の創設等の介護予防に関する取組の推進
- ・認知症への早期対応
- ・特定健康診査、後期高齢者健康診査、特定保健指導の推進
- ・社会参加の場の整備

C. 要介護認定率に比べ、介護保険サービスの利用率が低くないか

本市の認定者数に占める受給者の割合は81.2%と、認定者の5人に1人程度が介護保険サービスを利用していない状況です。

これには、

- ①認定後、長期間給付費が発生していない利用者が多い
  - ②病院への入退院時に認定を受け、その後適切なサービスに繋がっていない利用者が多い
- といった要因が考えられます。

**図表 1 8 受給者数・受給率の推移（再掲）**

	平成29年 10月	平成30年 10月	令和元年 10月	令和2年 10月	令和3年 10月	令和4年 10月
第1号被保険者数	39,062	39,627	40,073	40,319	40,331	40,234
認定者数	8,589	8,731	8,765	8,741	8,771	8,451
受給者数	6,762	6,464	6,635	6,767	6,920	6,863
施設サービス	1,412	1,411	1,412	1,412	1,513	1,406
居住系サービス	559	590	588	592	563	519
在宅サービス	4,791	4,463	4,635	4,763	4,844	4,938
第1号被保険者数に占める割合	17.3%	16.3%	16.6%	16.8%	17.2%	17.1%
施設サービス	3.6%	3.6%	3.5%	3.5%	3.8%	3.5%
居住系サービス	1.4%	1.5%	1.5%	1.5%	1.4%	1.3%
在宅サービス	12.3%	11.3%	11.6%	11.8%	12.0%	12.3%
認定者数に占める割合	78.7%	74.0%	75.7%	77.4%	78.9%	81.2%
施設サービス	16.4%	16.2%	16.1%	16.2%	17.3%	16.6%
居住系サービス	6.5%	6.8%	6.7%	6.8%	6.4%	6.1%
在宅サービス	55.8%	51.1%	52.9%	54.5%	55.2%	58.4%

▶考えられる対応例

- ・本人、高齢者を介護する者（家族等）への支援を強化
- ・在宅医療・介護連携推進事業（退院調整、連携の促進）

### ③地域住民に対する周知

介護保険の理念、多様なサービスの充実等を地域住民に対して十分な周知を図ることは、重要な要素です。日常生活圏域ごとに見て、地域住民への周知活動に差異がないかどうかを、近年の実績を振り返って確認することもひとつの方法として考えられます。

#### ▶考えられる対応例

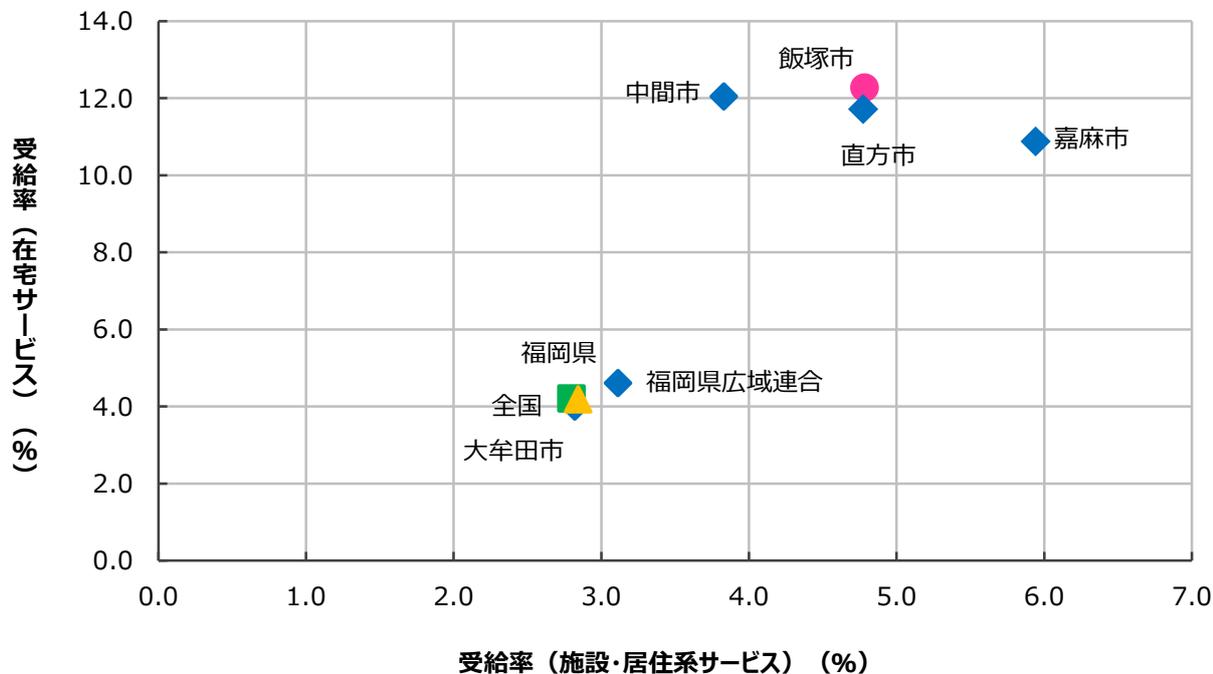
- ・普及啓発活動の更なる推進
- ・老人クラブ、町内会や自治会を通じ住民との対話の充実

### (2) 在宅サービス、施設・居住系サービスともに受給率が高い

在宅サービスの受給率と施設・居住系サービスの受給率のバランスを福岡県全体や全国と比較すると、本市は、「在宅サービス、施設・居住系サービスともに受給率が高い」ことがわかります。これには、そもそもの認定率が高いという要因が考えられるため、前述の

- ①要介護認定のプロセスの精度を高める
  - ②地域の高齢者の状況の把握
  - ③地域住民に対する周知の強化
- といった取組が必要と考えられます。

**図表 19 サービス類型別の受給率のバランス（再掲）**



(3) 重度者の受給者1人あたりの給付月額が高い

本市の受給者1人あたりの給付月額（在宅および居住系サービス）は比較的高い水準にあり、特に重度者（要介護3～5）で高くなっています。

サービス別にみると、「訪問入浴」「通所介護」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」などで高くなっています。

① 自立支援に資するケアプランが作成されているか

② 特定の事務所において、区分支給限度基準額に占める給付費の割合に偏りがいないか  
といった視点の確認が必要です。

図表20 受給者1人あたりの給付月額（令和4年）（再掲）

		飯塚市	嘉麻市	直方市	中間市	大牟田市	福岡県 広域連合	福岡県	全国
受給者1人あたり給付月額 (在宅および居住系サービス)	(円)	125,578	111,696	121,586	109,923	122,876	123,109	128,398	130,072
要支援1	(円)	1,001	4,338	1,803	2,936	2,632	3,130	2,252	1,803
要支援2	(円)	5,144	4,716	3,709	4,206	7,739	4,832	4,314	3,584
要介護1	(円)	23,845	39,504	30,668	32,362	32,115	33,528	30,248	26,727
要介護2	(円)	30,074	22,916	28,442	21,176	26,956	24,725	28,314	29,819
軽度者(要支援1～要介護2)	(円)	60,064	71,474	64,622	60,680	69,442	66,215	65,128	61,933
要介護3	(円)	24,353	15,212	21,563	20,019	17,606	21,606	26,027	27,381
要介護4	(円)	26,075	16,769	22,655	19,655	22,098	23,313	23,025	23,702
要介護5	(円)	15,086	8,241	12,746	9,569	13,730	11,975	14,218	17,056
重度者(要介護3～要介護5)	(円)	65,514	40,222	56,964	49,243	53,434	56,894	63,270	68,139
居宅サービス									
訪問介護	(円)	51,585	48,512	41,336	42,099	73,882	54,273	54,744	76,919
訪問入浴介護	(円)	65,646	51,872	57,975	50,446	49,111	65,187	64,834	61,810
訪問看護	(円)	37,910	36,859	45,289	39,072	37,532	39,374	41,801	41,295
訪問リハビリテーション	(円)	36,246	41,109	42,263	40,504	33,642	37,441	37,248	33,674
居宅療養管理指導	(円)	10,851	11,938	12,698	12,156	10,236	11,697	12,784	12,382
通所介護	(円)	102,886	102,150	105,264	108,900	93,590	100,186	94,442	83,257
通所リハビリテーション	(円)	56,450	46,573	59,635	56,845	57,892	58,244	56,457	58,136
短期入所生活介護	(円)	115,425	94,452	74,423	71,970	111,977	112,640	105,028	108,557
短期入所療養介護	(円)	60,063	77,189	69,185	76,322	59,704	69,465	76,037	91,341
福祉用具貸与	(円)	9,218	8,224	9,752	9,474	10,078	9,587	10,522	11,966
特定施設入居者生活介護	(円)	181,595	166,803	180,031	161,568	182,357	170,407	178,496	184,041
地域密着型サービス									
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	(円)	182,862	152,875	135,246	163,820	129,079	148,505	176,494	166,008
認知症対応型通所介護	(円)	135,878	0	124,386	210,395	108,333	125,361	136,761	116,352
小規模多機能型居宅介護	(円)	197,485	228,580	205,590	121,606	166,679	178,814	182,035	191,607
認知症対応型共同生活介護	(円)	258,399	246,133	257,249	241,812	255,388	250,213	257,260	260,639
地域密着型特定施設入居者生活介護	(円)	196,287	-	-	-	191,280	198,074	197,910	198,574
看護小規模多機能型居宅介護	(円)	222,559	239,678	179,128	201,852	212,541	242,121	246,568	260,420
地域密着型通所介護	(円)	95,060	103,683	98,479	113,874	122,751	103,458	92,141	74,762
介護予防支援・居宅介護支援	(円)	12,116	10,694	12,085	11,733	10,669	11,302	12,428	13,138

▶考えられる対応例

- ・地域住民、事業者への自立支援に資するケアプランに関する説明および理解の促進
- ・多職種連携による地域ケア会議での議論、専門家の派遣、研修の実施
- ・ケアマネジメント強化、ケアマネジャー研修
- ・ケアプラン点検、レセプト点検等の介護給付適正化事業の推進

介護保険事業を取り巻く現状～地域包括ケア「見える化」システムを用いた現状分析～

変更箇所一覧		
ページ	箇所	内容
目次	3. 認定者数、認定率	(2) 調整済み認定者数の状況を追加、それに伴い調整済み認定率の分布を(3)に変更
	9. 総括	各段落について目次に表記
	下段	資料中の比較団体について説明を記載
1ページ	1. 人口と高齢化率の推移	本文中の高齢者人口を総人口に、併せて説明分を修正
3ページ	3. 認定者数、認定率 (1) 認定者数・認定率の推移	本文中の記載内容を詳細な動きに合わせ修正
4ページ	(2) 調整済み認定率の状況	調整済み認定率の状況について資料を追加
14ページ	9. 総括	図表15、調整済み認定率の状況について再掲
全体	近隣保険者など、比較団体の増加により資料及び本文内容を精査し修正	
	資料の追加に伴い、段落番号及び図表番号を修正	
	資料データについて確認できる直近のデータにて修正	
	文言等について全体を見直し修正	